

論文審査の結果の要旨

報告番号	博(医歯薬)甲第 279 号	氏名	松林 昌平
学位審査委員	主 査	下川 功	
	副 査	永安 武	
	副 査	中尾 一彦	
論文審査の結果の要旨 1 研究目的の評価 本研究は、骨巨細胞腫の発生における Wnt 経路の関与を検討したもので、目的は十分に妥当である。 2 研究手法に関する評価 過去 30 年間に大学病院、関連病院において手術された症例について、病理組織、臨床病歴にて骨巨細胞腫と確認できた症例を対象とした。その組織切片において各種タンパク質を免疫染色にて可視化し、半定量的に解析したもので、研究手法も妥当である。 3 解析・考察の評価 上記手法で解析した結果、β-catenin が腫瘍細胞の核に発現し、腫瘍の進展や Ki-67 の発現との相関があることから、骨巨細胞種の発生と進展に Wnt 経路が関与することを示唆した点は、今後、この経路の制御による骨腫瘍治療法の開発への進展が期待される。 以上のように本論文は骨腫瘍研究に貢献するところが大きく、審査委員は全員一致で博士（医学）の学位に値するものと判断した。			